



浜田生涯学習交流館



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年8月24日(木)



「はにわ作りでは、一人ひとりに丁寧に対応していただき、道具も充実していて納得の作品ができた様子でとても良かったです。」

浜田生涯学習交流館が、小学生向けの夏休み講座として、地域にある施設のことや歴史について、楽しみながら学ぶ機会を提供する目的で、小学1年生～6年生までの20人が、ミニはにわ作りを体験しました。

ミニはにわ作り体験



初めに、はにわについての説明をしました。はにわの形には、円筒形や動物、人物、道具、家などいろいろな形のものがあることを学びました。

「こうやってつくるんだなあとか、すごくわかりやすくて楽しかったです。」



「はにわの胴体を丸くするのが難しかったです。」

次に、はにわの作り方を説明しました。まず初めにどんな形のはにわを作りたいのかを頭の中で想像して、土の粘土をこねます。土の粘土を触ったことがない子どもたちは、少し困惑気味でした。それでも少し慣れてくると、胴体ができはじめました。胴体にヒビが入ってしまうとどうすればいいのかわかってしまいました。水を少しつけて表面を滑らかにして、部品をつけました。リボンや帽子などをつけて完成しました。



「ヒビをなおすところが難しかったです。」

「はにわについてくわしく知ることができて良かったです。自分のオリジナルのはにわを作れて、楽しかったです。」



担当者の感想

「身近な歴史施設について学び、郷土理解を深めることが講座のねらいの一つにあったので、はにわ作りを楽しみながらセンターの紹介や役割などを聞くことができ、とても良かったです。歴史を学び、いろいろな形のはにわ(資料)を見ることができて、子どもたちのはにわへの理解が深まりました。作りたいミニはにわのイメージもしやすくて、とても良かったです。1～6年生まで年齢の幅が広く対応が大変だったと思いますが、とてもわかりやすい解説で理解が深まりました。はにわ作りでは、一人ひとりに丁寧に対応していただき、道具も充実していて納得の作品ができた様子でとても良かったです。材料や道具の準備片付けなどスムーズにご対応いただき、いろいろありがとうございました。」

